

福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 98ヶ所
布教所数 87ヶ所
ようほく数 3042人
(103.0月現在)

全教「斉心をいげデー」

一手一つに 世界たすけの歩みを進めよう

「立教187年全教一斉にをいげデー」が、9月28日～30日の3日間を「支部実動日」として実施された。

福島支部（椿秀教支部長）では29日、教務支庁周辺で戸別訪問を行った後、にをいげドリルミニミニ版を開催。その後、路傍講演を行った。

28日には渡利地区、30日には蓬萊地区でもにをいげを行い、述べ18名が参加した。

耶麻支部（近藤直光支部長）では3日間にわたり、猪苗代、坂下、喜多方と場所を変えながら、連日、神名流し、路傍講演、戸別訪問を行い、述べ約60名が参加した。

郡山支部（橋本義弘支部長）では29日、古港分教会を拠点に神名流し、郡山駅前での路傍講演を行い、13名が参加した。

その他の支部でも、年祭活動2年目にふさわしい「にをいげデー」となるよう、一手一つにとめられた。



福島支部



耶麻支部



郡山支部

少年会

「少年ひのきしん隊本部練成会」に3名入隊

少年会福島教区団（近藤直光团长）は、7月28日から8月2日、「少年ひのきしん隊本部練成会」に3名（男子1名、女子1名、カウンセラー1名）で入隊した。



28日、教務支庁に集合した参加者は、隊服を合わせるなどした後、おぢばに向けて出発、夜には無事に到着した。

翌日は、午前中、神殿を参拝したり、行進練習をするなどして入隊に備え、午後からおやさとやめた東棟地下の宿舎に入った。

7月29日～8月1日の2次隊期間中は、秋田教区、長野教区と合同班となり、行動を共にした。連日「熱中症警戒アラート」が発令されるほど暑い日が続き、朝早くから夜遅くまでプログラムが組まれて体力的にも厳しい中、「お茶接待ひのきしん」で人のために尽くす喜びを味わったり、「廻廊ひ



のきしん」や「リトルマガジンワールド」「バラエティー187」などの行事に参加したり、他教区との交流行事を楽しむなど、夏のおぢばを十分に堪能した。

1日に解隊後には、事後研修として長島スパリゾートで楽しい時間を過ごした。
(N・K)



災害救援ひのきしん隊出動

山形豪雨水害

災害救援ひのきしん隊福島教区隊（荒井弘徳隊長）では、8月30日～9月1日、山形県戸沢村へ10名が出動、水害からの復旧活動に尽力した。当初、「北海道・東北ブロック訓練」が同時期に山形教区で行われる予定だったが、地域の要請を受けて、急遽、実動へと変更となった。7月25日、梅雨前線が活発化し、山形県で線状降水帯が発生し、「大雨

特別警報」や「土砂災害警戒警報」が発令された。記録的な大雨の影響で、最上川中下流域が氾濫、死者3名をはじめ、2千棟を超える建物に被害があった。

山形教区隊では8月初旬から救援活動を展開していたが、戸沢村ボランティアセンターから引き続きの出動要請があったため、本部隊と北海道東北の7教区隊の出動となった。

30日結隊式の後、福島教区隊は戸沢村の民家へ他教区と共に出動。汚泥が流れ込んだ屋内から、水に浸かって使えなくなった家電製品や家財道具をリレー方式で外へ搬出し、トラックで災害ゴミの集積場へ運んだ。また屋外では、堆積した汚泥を土嚢に詰めたり、敷地内の草刈りをした。

翌日、翌々日も被災した別の民家へ出動。残暑厳しい中、家財道具の搬出や汚泥の撤去を黙々と行った。

(H・A)



道の教職員の集い

「総会」「成人塾」を開催

を主催

福島教区道の教職員の集い（齊藤元康代表世話人）では、6月30日、今年度の「総会」を猪福島教務支庁で開催、7名が参加した。活動報告等の議事後は、会食の場も設け、親睦を深めた。

7月22日には「成人塾」を磐城平大教会で開催。小学生1名が参加した。

また24日には猪苗代分教会で開催、同教会で運営している「こども食堂」の利用者を中心に、30名を超える小学生・中学生が参加し、10名を超えるスタッフが世話どりに当たった。

午前中の3時間は各自夏休みの宿題に取り組み、分からないと



学生会

学生の集い「まなびば」を開催

福島教区学生担当委員会（国分一志委員長）では、8月18日福島教務支庁にて、学生の集



い「まなびば」を開催。今年から参加対象が高校生から学生（高校生以上）となり、学生3名、スタッフ5名が参加した。まず、謎解きや、風船やピンポン玉を使って身体動かすワークを通して参加同士の親睦を深めた。

その後、『稿本天理教教祖伝逸話篇』を用いてクイズ形式で3つの『逸話篇』にふれ、福島教区学生担当委員会前委員長の杉澤元和先生よりお逸話に基づいたお話をいただいた。



最後に、全体を通してのふりかえりとして、今日学んだことを今後の生活にどのように活かして行けるか話し合った。

(Y・N)



ころはボランティアの大学生や現役の教員が丁寧に指導に当たった。午後からはあいにくの雨となったが、室内で遊んだり、みんなでオリジナルパフェ作りをしたりと、充実した時間を過ごした。

参加者からは「夏休みの宿題が全部終わった」「パフェもお昼ご飯も美味しくて何回もおかわりした」と言った感想があった。

(M・S)



を開催し、少年会員13名、育成会員10名が参加した。

午後には集まった参加者は、まず神殿で参拝した後、参加者全員でお風呂に向かった。教務支庁に戻り、夕づとめ前に佐久間雄大・福島支部少



を聞き、夕食後はスイカ割りや花火、肝試しと、楽しみいっぱい夏の夜を過ごした。

翌日は、教務支庁内外の片づけ・清掃のひのきしんを行った後、あづま運動公園に移動し、アスレチックやサイクリング等を暑さを忘れて楽しみ、昼食後、解散となった。

(N・K)

少年会

「福島教区お泊まり会」を開催

少年会福島教区団（近藤直光団長）では、8月18日、19日、福島教務支庁で「教区おとまり会」

婦人会

「婦人会総会」を開催

福島教区婦人会（平澤栄美主任）では、9月3日、「婦人会総会」を開催し、会員53名を含む総

数65名が参加した。

午前10時よりおととめ衣を着て3

交代でおととめをつとめた。

続く式典では、婦人会本部よりご



祝辞を平澤主任が代読し、教区長先生のご挨拶をいただいた。

引き続き、安達支部安達分教会委員部長・荒井麻子さんと福島支部瀬

ノ上分教会長・新村としさんが感話

をし、年代の違う2人のそれぞれ通

られた道をお話しされた。

(E・H)

布教部巡回



安達支部

教区総出ひのきしん



9月19日、教区総出ひのきしんが教務支庁で開催され、30名が参加した。建物周りの除草を中心に、昼前にはきれいになった。

布教部

「にをいがけ支部巡回」を実施

福島教区布教部（生江 一行部長）では、各支部の支部例会などに合わせ、布教部員を派遣し、「にをいがけ支部巡回」を行った。これは、教祖140年祭へ向けて今年と来年の9月を「全教会布教推進月間」一手一つに

世界たすけの歩みを進めよう」として、各教会を拠点に、布教活動を活発に推し進めると本部布教部より打ち出されたことから、その周知徹底を図るとともに、各教会長とともににをいがけを行うことで、その実動を後押しすることを目的とするもので、7月3日の福

島支部（8名参加）を皮切りに、9月3日安達支部（6名参加）4日会津支部（14名参加）、6日耶麻支部（14名参加）、7日いわき支部（7名参加）と行われた。

布教部員と教会長が中心となり、神名流しや路傍講演を行い、それぞれの地域に「天理王命」の神名と教えの一端が伝えられた。

（K・N）

福島支部



会津支部



耶麻支部



いわき支部



全教一斉にをいがけデー

安達支部



会津支部



天理教基礎講座（福島会場）

【日時】

11月17日（日）13時30分～

【会場】

二本松交流センター（二本松市）

【講師】 本部講師・澤田芳江先生

（愛静大教会長）

きょういく講演会

【日時】 11月2日（土）

14：30～16：00

【場所】 ラコパふくしま

（福島市仲間町4-8）

【内容】 講演・質疑応答

【講師】 辻 真一先生

（甲京分教会長）

【テーマ】 「不登校対応講座」

【参加費】 無料

11月3日、4日は『ようぼく一斉活動日』

◎福島教区管内会場◎

（10月1日現在）

支部	会場	日時	会場ごとのプログラム内容
福島	福島分教会	4日 9：30～11：30	講話
安達	安達分教会	3日 10：00～11：30	ひのきしん
郡山	行理山分教会	4日 10：00～13：00	教祖のひながたをQ&Aで学ぶ
田村	三春分教会	3日 10：00～13：00	おつとめまなび
耶麻	新河沼分教会	4日 9：45～12：00	おつとめの心構え講習会
会津	若會分教会	4日 10：30～13：00	おつとめまなび
いわき	磐城平大教会	4日 9：30～12：00	ビデオ視聴、茶話会
相双	福相分教会	3日 10：00～14：00	茶話会
	原町分教会	4日 9：30～11：30	茶話会

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索！

Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp